



よげんじょうじゅ  
預言成就の  
中にあるレムナントが  
さいわ  
もっとも 幸いなレムナントです

ネヘミヤ 1:1 ハカルヤの子ネヘミヤのことは、第二十年のキスレウの月に、私がシュシャンの城にいたとき、

### 1. ネヘミヤについて知りましょう

- (1) ネヘミヤは、イザヤ預言者の預言を成就しました(イザヤ 10:21 ~ 22)
- (2) ハカルヤの息子で、契約の家庭で育ちました(ネヘミヤ 1:1)
- (3) ネヘミヤという名前は「神様に慰められる者」という意味です
- (4) アルタシャスタ王のお酒を担当する長官でした(ネヘミヤ 1:1 ~ 2)



## 2. 真の涙と苦しみを分かる人でした

- (1) イスラエルに残っていた人々が苦しい目にあっているという話に涙を流し、あまりに悲しんだので食べ物を食べないほどでした(ネヘミヤ 1:3~4)
- (2) 神様に契約とあわれみを求める、切実な祈りをしました(集中祈り、ネヘミヤ 1:5~6)
- (3) 自分のアイデンティティーを発見して告白する祈りをささげ、自分が必要ならぬことが何かを発見しました(ネヘミヤ 1:11~12)

## 3. 誠実なひとりが国を生きします

- (1) ネヘミヤはアルタシャスタ王の関心の中にあるレムナントでした(ネヘミヤ 2:1~2)
- (2) 王と話が通じるレムナントでした(ネヘミヤ 2:3~7)
- (3) 王の\*調書を持って、イスラエルの再建という大いなることを始めました(ネヘミヤ 2:8~20)

\* 調書 王の命令を書いた文書



10

(日曜)

## エルサレムの<sup>じょうへきかいふく</sup>城壁回復の

<sup>しゅやく</sup>  
主役になりましょう

ネヘミヤ 3:1~27 こうして、<sup>だいまいし</sup>大祭司エルヤシブは、その兄弟の<sup>まいし</sup>祭司たちと、<sup>ひつじ</sup>羊の門の<sup>きいけん</sup>再建に取りかかった。彼らはそれを<sup>せいべつ</sup>聖別して、とびらを取りつけた。彼らはメアのやぐらまで<sup>せいべつ</sup>聖別し、ハナヌエルのやぐらにまで<sup>あ</sup>及んだ。(1)

### 1. もっとも答えを受ける人はだれでしょうか

- (1) レムナント7人のように、自分の<sup>しごと</sup>仕事を<sup>ちゅうじつ</sup>忠実にする人が、  
もっとも答えを受けます
- (2) 人と時代<sup>じだい</sup>に必要な<sup>ひつよう</sup>ことをする人が、もっとも答えを受けます
- (3) 神様が<sup>ねが</sup>願われることに<sup>もち</sup>用いられる人が、もっとも答えを受けます





## 2. ネヘミヤはエルサレムの城壁回復の主役でした

- (1) ネヘミヤは王の心を動かしました(ネヘミヤ 2:1~8)
- (2) ユダの総督になりました(ネヘミヤ 5:14)
- (3) 実際的な問題を解決する主役でした

## 3. 神様の完ぺきな時刻表の中にあることは、答えよりもっと大きい答えです

- (1) ネヘミヤはエズラとゼルバベルと、同じ同労者としての祝福された出会いがありました
- (2) アルタシャスタ王との出会いがありました
- (3) ユダの民とひとつの心でエルサレムの城壁を再建しました



はたら  
神様の働きを

さまたげる者は、

えいえん しっぱい  
永遠に失敗する者です

ネヘミヤ 4:1~6 「お聞きください、私たちの神。私たちは軽蔑されています。彼らのそしりを彼らの頭に返し、彼らが捕囚の地でかすめ奪われるようにしてください。彼らの咎を赦すことなく、彼らの罪を御前からめぐい去らないでください。彼らは建て直す者たちを侮辱したからです。」 (4~5)

1. 時代ごとに不信仰の人が、しばらく勝利しました

- (1) エジプト、ペリシテ、アッシリヤ、バビロン、ローマのような強国（偶像国家）が勝利しました
- (2) モアブ人とアモン人のように、不信仰の人（民族）は、永遠に失敗しました
- (3) 彼らの成功は少しの間だけです（ハバクク 2:1~4）



## 2. もっとも重要な時期にさまたげる者が現れました

(1) トビヤは城壁再建をさまたげました(ネヘミヤ 2:1~10)

トビヤはアモン人でした(ネヘミヤ 2:1~19)

城壁工事をさまたげました(ネヘミヤ 2:10、19)

自分に得になるように生きる人でした

結局、ネヘミヤが追い出しました(ネヘミヤ 13:4~9)

(2) サヌバラテもまた、城壁の再建をさまたげました

サヌバラテの名前は「月の神が命を与えた」という意味です

彼は川向こうの総督でした(ネヘミヤ 2:10)

サマリヤの勢力家でした(ネヘミヤ 4:1)

ネヘミヤを脅迫して、殺すと言いました(ネヘミヤ 6:5~10)

(3) ユダの民は、戦闘に備えて、剣と槍と弓などで完全武装をして

城壁工事をしました(ネヘミヤ 4:15~20)

## 3. 信仰の人は、ついに勝利して永遠な実を残します

- エズラ、ネヘミヤ、ゼルバベルのワンネス(Oneness、ひとつとなること)は、ついに勝利して、永遠な実を残しました



24 (日曜)

かなら けいやく  
必ず神様の契約を持った者が  
しょうり  
勝利します

ネヘミヤ 5:1~13 私<sup>わたし</sup>はまた、私<sup>わたし</sup>のすそ<sup>ふ</sup>を振って言った。「この約束<sup>やくそく</sup>を果たさない者<sup>は</sup>を、ひとり残<sup>のこ</sup>らず、神がこのように、その家とその勤労<sup>きんろう</sup>の実<sup>み</sup>とから振り落<sup>お</sup>としてくださいますように。このように、その者は振り落<sup>お</sup>とされて、むなしいものとなりますように。」すると全<sup>ぜん</sup>集団<sup>しゅうだん</sup>は、「アーメン」と言って、主をほめたたえた。こうして、民<sup>たみ</sup>はこの約束<sup>やくそく</sup>を実行<sup>じっこう</sup>した。(13)



## 1. しっかりと握る祈りの課題の中の課題があります

- (1) 神様のみこころならば、危険が来ても勝利します(ネヘミヤ 1:1)
- (2) みことばならば、不可能に見えても成就します(ネヘミヤ 4:7~8)
- (3) 契約を握った人は苦難、迫害、死がきても勝利します(ネヘミヤ 6:15~19)

## 2. ネヘミヤは城壁工事に成功しました

- (1) サヌ巴拉テとすべての勢力といっしょになって攻撃しました(ネヘミヤ 4:1~23)
- (2) ユダの民は、力を合わせて祈りました(ネヘミヤ 5:1~13)
- (3) 城壁工事は完全勝利で実を結びました(ネヘミヤ 6:15~19)

## 3. 永遠に残る答えが起きました

- (1) すべての民の祈り運動をくりひろげました(ネヘミヤ 9:4~6)
- (2) 改革運動が起きました(ネヘミヤ 5:1~13)
- (3) みことばが回復しました(ネヘミヤ 13:1~31)



31

(日曜)

## すべてのレムナントが のがしてはならないことが あります

ネヘミヤ 8:1~12 <sup>かれ</sup>彼らが神の律法<sup>りっぽう</sup>の書<sup>しょ</sup>をはっきりと読んで  
<sup>せつめい</sup>説明したので、民<sup>たみ</sup>は読<sup>よ</sup>まれたことを理解<sup>りかい</sup>した。(8)

### 1. すべての伝道者<sup>でんどうしゃ</sup>とレムナントがのがしてはならない ことがあります

- (1) すべての聖書<sup>せいしょ</sup>は、福音<sup>きふん</sup>の目で見なければなりません
- (2) すべての世の中は、伝道<sup>でんどう</sup>の目で見なければなりません
- (3) すべての生活<sup>せいかつ</sup>は、靈的<sup>れいてきたたか</sup>戦いと良い戦いと不信仰<sup>よ たたか ふしんこう</sup>との  
戦<sup>たたか</sup>いで見なければなりません



## 2. ネヘミヤ記の中にはキリストがあかしされる内容が 隠されています

- (1) 城壁と神殿の再建に対してネヘミヤが流した涙は、  
イエス様が神殿に対して流された涙の\*予表です(ネヘミヤ 1:4)
- (2) ウリムとトンミムは、光と完全を区分するキリストを  
象徴します(ネヘミヤ 7:65)
- (3) みことばの正しい悟りは福音の回復です(ネヘミヤ 8:8)

## 3. すべての民が心を神様にささげました

- (1) すべての民がエズラが読む律法の書のみことばに  
耳を傾けました(ネヘミヤ 8:1~38)
- (2) 水の門の前の広場に集まりました  
(ネヘミヤ 8:4~6)
- (3) 毎日みことばを読んで集まりました  
(聖会、ネヘミヤ 8:9~18)

\*予表 預言などを前もって見せてくれる  
しるし(型)

